

市民セミナーヨ 2022 No. 1

パリ外国宣教会本部古文書室所蔵の ド・ロ神父の手紙を翻訳して

ド・ロ神父の書いた手紙は片岡弥吉著『ある明治の福祉像ド・ロ神父の生涯』で触れられただけでしたが2018年、パリ外国宣教会本部古文書室を訪れた際に、1878～1882年の手紙12通を確認することができました。

ド・ロ神父の同僚に宛てた飾らぬ文体の手紙からは、ド・ロ神父のみならず、再布教初期の神父たちの姿が生き生きと浮かび上がってきます。

また禁教令が解かれた後の潜伏キリシタンに、正統なカトリック信仰がなされていたのかという精査が大変だった様子がかえります。

出津赴任後は、人々の信仰と生活を支えるための様々な事業が、上司たちとの軋轢や孤独感を抱えながらの奮闘であったことや、制作していた版画についての記述もあります。

これらの手紙からド・ロ神父の「人となり」、さらにド・ロ神父の偉大さが分かるのです。

(手紙はパリ外国宣教会所蔵 無断転載禁止)



◆日時 : 2022年**1月15日(土)**13:30~15:00

◆会場 : **浦上キリシタン資料館コミュニティスペース**
長崎市平和町 11-19 TEL:095-807-5646

◆講師 : **中村 和子** (長崎外海ヴォスロール姉妹都市委員会会員)



静岡県出身、玉川大学文学部教育学科卒業後、英語・フランス語やそのほかの外国語に興味を持ち、勉強しています。会社勤め後、結婚。神奈川県立みどり養護学校高等部非常勤勤務(2年)。偶然、ド・ロ神父を知り、生誕地ヴォスロール村や出津に行き、ド・ロ神父の偉業を見る。何度かフランスを訪問する中で、2018年にパリ外国宣教会古文書室でド・ロ神父の手紙を発見し、訳す。また、禁教令解除後の仮聖堂で使われていた道行図の版画の翻訳、調査に協力する。

◆参加費 : 500円 ◆定員 : 30名

◆お申し込み : 浦上キリシタン資料館 TEL&FAX : 095-807-5646
E-mail : urakamicm@mxm.cncm.ne.jp

※お名前とご連絡先を TEL・FAX・MAIL のいずれかでご連絡ください。

◆企画・問い合わせ : **NPO 法人**  **アジェンダNOVAながさき**
～長崎の文化を考える会～ <https://feature.jp/agenda/>
理事長 林田慎一郎 090-7923-7435 linden@ae.wakwak.com